

# 株式会社レスターホールディングス

2022年3月期  
決算補足説明資料

2022年5月11日

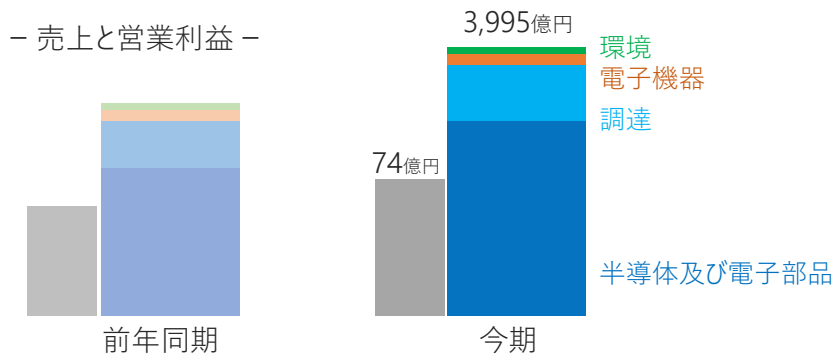


# 2022年 3 月期通期 連結業績ハイライト



# 業績ハイライト

単位：百万円	2021年3月期 通期		2022年3月期 通期		前年同期比	
	金額	売上比	金額	売上比	増減額	増減率
売上高	323,815	—	399,590	—	75,775	23.4%
売上総利益	25,122	7.8%	30,080	7.5%	4,958	19.7%
販売管理費	18,883	5.8%	22,595	5.7%	3,711	19.7%
営業利益	6,238	1.9%	7,485	1.9%	1,246	20.0%
経常利益	5,689	1.8%	6,731	1.7%	1,041	18.3%
親会社株主に帰属する 当期純利益	4,054	1.3%	5,964	1.5%	1,909	47.1%



## ■ 売上高

半導体など需給逼迫にあったものの、半導体及び電子部品事業や調達事業においては民生機器や車載機器など旺盛な客先需要を取り込み、全体の売上は増収。一部の製品や部品が調達困難な状況にあったことから電子機器事業の売上に影響あり

## ■ 営業利益・経常利益

増収による売上総利益の増加や販売管理費の抑制により増益

■ 親会社株主に帰属する当期純利益  
負ののれん発生益として1,936百万円を特別利益に計上、親会社株主に帰属する当期純利益も増益



# 半導体及び電子部品事業

■ デバイス ■ EMS

単位：百万円	2021年3月期	2022年3月期	前年同期比	
	通期 金額	通期 金額	増減額	増減率
売上高	225,428	290,743	65,314	29.0%
セグメント利益	6,719	7,883	1,163	17.3%



## ■ デバイス事業

民生、車載、産業機器、更にはサーバー関連等の需要増により増収

## ■ EMS事業

スマートフォンやタブレット向けなどの受注増加並びに該当製品の高機能化による部品搭載数の拡大により増収

## ■ セグメント利益

デバイス事業の増収等により増益

## □ 今後の取り組み

強みの商材をコアの一つとして、モジュール化とソリューション提案力の強化による更なる高付加価値化に努めるとともに、産業機器や車載機器向けなどの注力領域で事業拡大を図り、EMS事業においては生活家電向けなどの新たなニーズに対応



# 調達事業

■ 調達

単位：百万円	2021年3月期	2022年3月期	前年同期比	
	通期 金額	通期 金額	増減額	増減率
売上高	72,044	84,446	12,402	17.2%
セグメント利益又は損失（△）	△ 127	695	822	-



## ■ 調達事業

産業向けや車載関連、P C 向け部品を主力としたパナソニックグループ向けの販売増に加えて、パナソニックグループ向け以外のビジネスも新規顧客の獲得により好調に推移し増収

## ■ セグメント利益

増収と半導体不足による特需、円安による売上総利益の改善により増益

## □ 今後の取り組み

調達機能における付加価値拡大並びに新規案件の受注



# 電子機器事業

■ 電子機器 ■ システム機器

単位：百万円	2021年3月期	2022年3月期	前年同期比	
	通期 金額	通期 金額	増減額	増減率
売上高	20,085	21,000	915	4.6%
セグメント利益	818	426	△392	△47.9%



## ■ 電子機器事業

放送・映像制作の大型案件の納入、撮影機材、並びに会議システムの需要増により増収

## ■ システム機器事業

新たな商品としてマイナンバー個人認証機器の販売を開始したものの、主にオフィス向け自動販売機等の需要低下に伴う決済用キャッシュレス端末の需要減、及びサプライチェーンの混乱による出荷影響もあり減収

## ■ セグメント損失

電子機器事業の売上拡大に向けた投資等による費用増、システム機器事業の減収により減益

## □ 今後の取り組み

電子機器：企業向けの新規案件対応や、大型LEDビジネス案件獲得等に注力

システム機器：マイナンバー個人認証関連機器の製造・販売の拡大、並びにカードサービス株式会社等との連携による競争力の高い新しい製品開発も推進



# 環境エネルギー事業

■ エネルギー ■ 新電力 ■ 植物工場

単位：百万円	2021年3月期	2022年3月期	前年同期比	
	通期 金額	通期 金額	増減額	増減率
売上高	9,370	9,437	66	0.7%
セグメント利益又は損失（△）	△ 344	236	581	-



## ■ エネルギー事業

国内の太陽光や風力の発電、及び台湾の太陽光増設による発電量の増加により増収

## ■ 新電力事業

テレワークの定着化が進みオフィス向けを中心とした民間需要が減少したことなどから減収

## ■ 植物工場事業

コンビニエンスストア向けの需要低下や2021年8月に火災事故があった鹿角工場の出荷量減少等もあり減収

## ■ セグメント利益

エネルギー事業の増益並びに植物工場事業の損益改善により黒字転換

## □ 今後の取り組み

脱\*FITと\*\*FIP戦略に向けた取り組みの強化、脱炭素をはじめとした再生可能エネルギーの事業拡大、地域エネルギーの地産地消実現に向けたサポート事業を推進するとともに、植物工場事業では生産効率の改善と新製品の開発に努める

\*FIT：Feed-in Tariff（固定価格買い取り制度）、\*\*FIP：Feed-in Premium（市場価格に連動した価格に一定の補助を上乗せして電力小売事業者などが買い取る制度）



# 連結貸借対照表

PALTEKの連結子会社化や増収に伴う売掛金の増加、棚卸資産の増加、及び短期借入金の増加等

(単位：百万円)	2021年3月末	2022年3月末
資産の部		
流動資産	146,133	185,599
固定資産	44,252	56,358
資産合計	190,385	241,958
負債純資産の部		
流動負債	94,095	139,329
固定負債	20,031	20,954
純資産	76,258	81,674
負債純資産合計	190,385	241,958
自己資本比率	38.6%	32.1%



# キャッシュフロー

(単位：百万円)

現金及び現金同等物の期首残高	40,203
■ 営業活動によるCF	△27,308
> 主に棚卸資産の増加、売上債権の増加	
■ 投資活動によるCF	△15,954
> 主に有形固定資産の取得による支出、連結範囲の変更を伴う子会社の株式取得による支出	
■ 財務活動によるCF	34,955
> 主に短期借入金の純増加、長期借入金の収入と返済、配当金の支払等	
■ 換算差額等	1,542
現金及び現金同等物の期末残高	33,438

# 2023年3月期通期見通し①

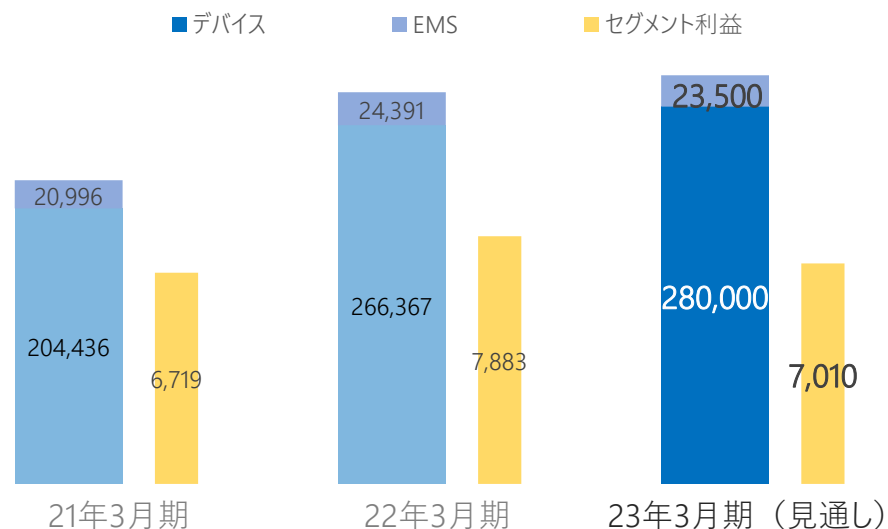
単位：百万円	2022年3月期 通期	2023年3月期 通期	前期比
売上高	399,590	445,000	11.4%
営業利益	7,485	8,500	13.6%
経常利益	6,731	7,500	11.4%
親会社株主に帰属する当期純利益	5,964	6,000	0.6%

## ■ 2023年3月期見通しポイント

- 不透明感あるものの“半導体及び電子部品事業”及び“調達事業”の旺盛な半導体需要による増収
- 収益面は“電子機器事業”及び“環境エネルギー事業”の収益改善による増益
- 親会社株主に帰属する当期純利益は微増（前期は負ののれん益を特別利益に計上）

# 2023年3月期通期見通し②

## ■半導体及び電子部品事業



(単位：百万円)

### 【業績動向ポイント】

- 不透明感あるものの旺盛な半導体需要による成長継続
- 産業機器や車載機器向けの注力領域で事業拡大図る
- 前期は半導体特需に伴う高収益案件があったものの当期は特殊要因織り込まずやや減益

### 事業概況

#### デバイス

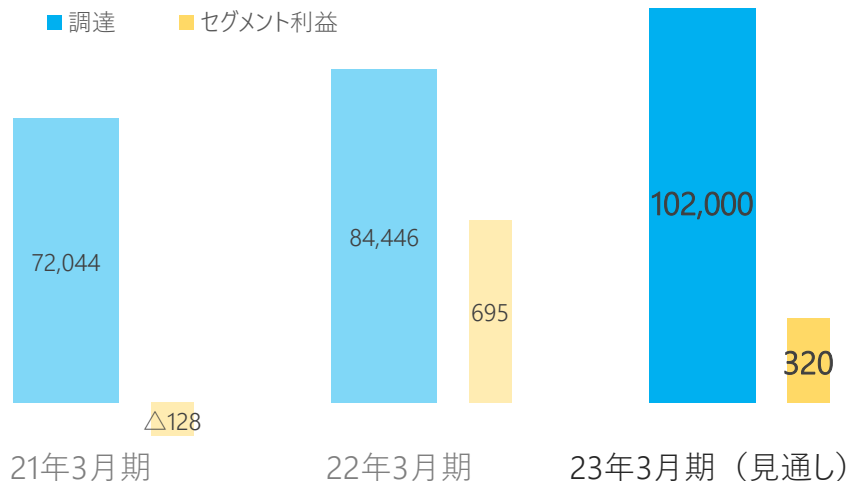
- 強みの商材を活かし画像センシングシステムを産業機器向けなどに拡大
- モジュール化やシステムソリューション開発など更なる付加価値拡大

#### EMS

- スマホ・タブレット向けのOLED用モジュールなどを受託生産
- 自動車産業に特化した品質マネジメントシステムに関する国際規格IATF16949も取得し車載向け事業も強化

# 2023年3月期通期見通し③

## ■ 調達事業



(単位：百万円)

### 【業績動向ポイント】

- 主要顧客及びその他顧客への調達事業拡大
- 前期に発生した為替影響や半導体特需に伴う高収益案件といった特殊要因織り込まず当期は減益

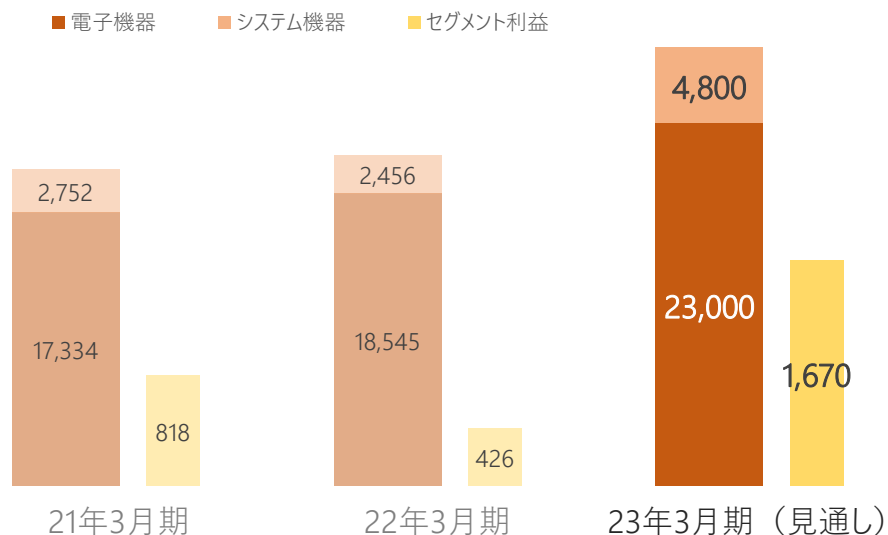
### 事業概況

#### 調達

- パナソニックグループ向けの調達SCM事業が主力であるもののその他顧客の調達事業を拡大中
- 商社機能における調達ノウハウを有し需給逼迫する市場においても各種ネットワークを駆使した調達力の強みを活かし当社グループの売上拡大に貢献

# 2023年3月期通期見通し④

## ■電子機器事業



(単位：百万円)

### 【業績動向ポイント】

- M&A企業とのシナジー創出による業績拡大
  - ➔ 電子機器：タックシステム社（音響領域）
  - ➔ システム機器：カードサービス社（決済端末領域）

### 事業概況

#### 電子機器

- 音響領域に強みを持つタックシステムをグループ化し映像と音響を一体化したソリューションにて事業強化
- ニューノーマルに対応した新しい商材開発

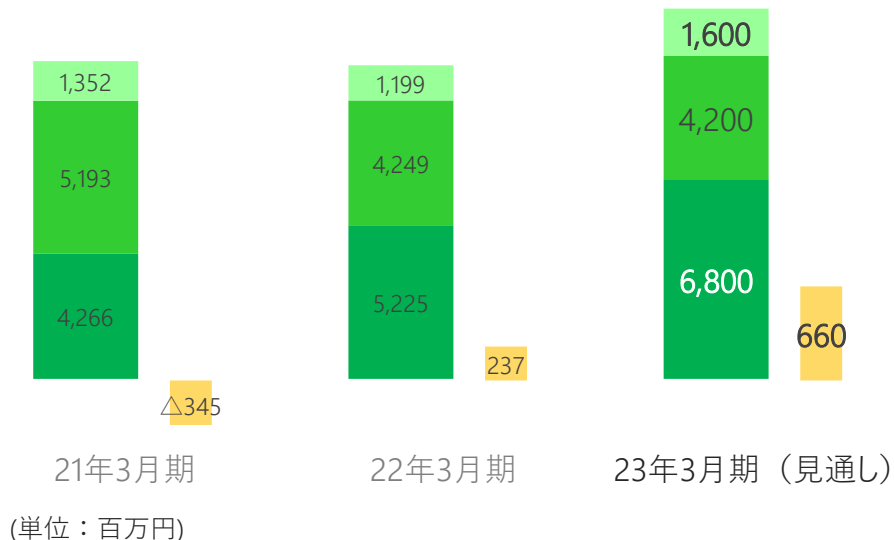
#### システム機器

- 決済端末国内シェア4割を持つカードサービス社をグループ化
- キャッシュレス決済・顔/生体認証のビジネス領域で事業拡大

# 2023年3月期通期見通し⑤

## ■環境エネルギー事業

■エネルギー ■新電力 ■植物工場 ■セグメント利益



### 【業績動向ポイント】

- 太陽光発電の敷設拡大に伴う収益貢献
- 新電力／植物工場のコスト改善に伴う収益性改善

### 事業概況

#### エネルギー

- 国内約147MW（50拠点以上）の太陽光発電保有、小規模風力発電も営むなど今後も増設計画
- 耕作放棄地での太陽光発電の敷設、同地に営農する農地シェアリングも展開

#### 新電力

- 官公庁や数多くの企業への電力供給
- 自社電源を持ち、電力調達のリスクも軽減
- カーボンニュートラル対応のサービスも展開し需要家の脱炭素化のニーズに対応

#### 植物工場

- 国内5カ所に完全閉鎖型植物工場を保有しグリーンリーフレタスなどの野菜を栽培・販売
- 付加価値高い商品開発や地産地消など推進し業績改善実行中、またコンサルティング事業も推進中

# 株主還元方針

## 連結業績予想に基づき財務の安定性を重視

- ・配当の実施や自己株式取得の検討等、株主への還元向上
- ・積極的な戦略投資とともに、適正な資本配分の継続的な見直しを進める
- ・一層の利益の拡大と資本効率の改善を通じた企業価値向上の実現を目指す

	1株当たり配当金		
	第2四半期末	期末	合計
2023年3月期予想	40円00銭	50円00銭	90円00銭



# レスターグループ 経営理念

## ミッション

情報と技術で、新しい価値、サービスを創造・提供し、  
社会の発展に貢献します

## ビジョン

あらゆるニーズに対応できる  
「エレクトロニクスの情報プラットフォーム」を目指します  
世界・社会貢献・共創と革新

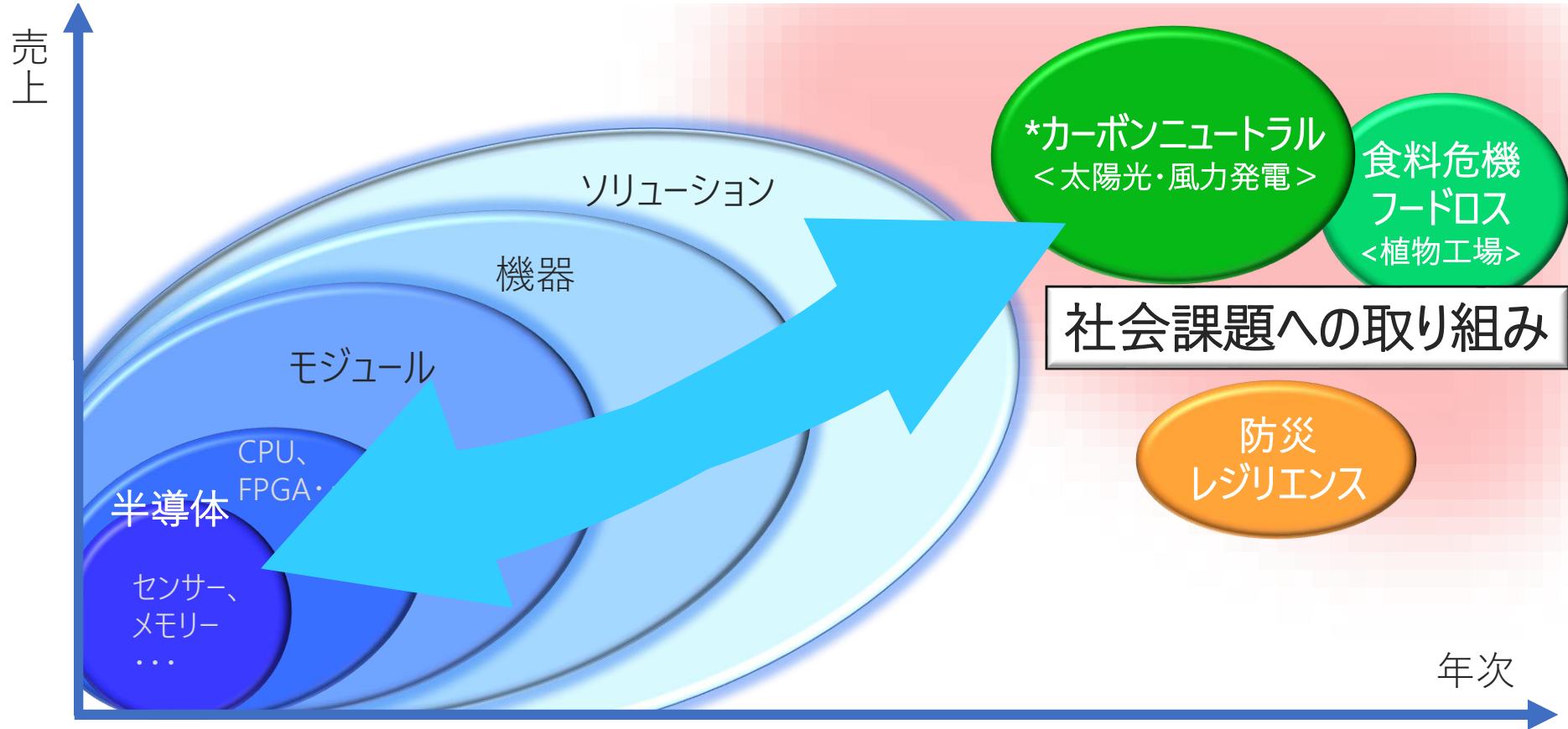
## バリュー

- ・多様な考えを受け入れ、共創を通じて、新しい文化や価値を創り出します
- ・常に高い目標を掲げて、革新的な発想と情熱で、挑戦し続けます
- ・活躍の場を世界へと広げ、持続可能な社会の発展に貢献します





# レスタ-グループの取り組み方向性



\*カーボンニュートラル：実質炭素排出ゼロ

## エレクトロニクスの情報プラットフォーム

世界中の課題を解決する。

革新的ビジネス  
の創出

情報×技術  
付加価値の向上

事業間シナジー

多様な事業展開

1. M&Aによる事業基盤強化と事業拡大
2. 脱炭素社会に向けたグループ内協業
3. 自治体レジリエンスソリューション提案の具体事例

# 1. M&Aによる事業基盤強化と事業拡大

## 半導体及び電子部品事業

EMS事業

Lavinics Co., Ltd.

対象会社 : Lavinics株式会社 (韓国)  
事業内容 : 生活家電向け基板アセンブリ  
グループ化 : 2022年4月

- 実装事業の拡大及び技術の共有
- 生活家電市場 (顧客・生産品) への参入による事業ポートフォリオの拡大

## 電子機器事業

電子機器事業

Tac TAC SYSTEM

対象会社 : タックシステム株式会社 (日本)  
事業内容 : 業務用音響・映像機材の  
システム販売及び卸売販売など  
グループ化 : 2022年4月

映像に強みを持つレスターコミュニケーションズと音響に強みを持つタックシステムの融合  
→ 「映像・音響ソリューションのワンストップサービスを包括する業界のトップランナー」を目指す

システム機器事業

CARD SERVICE Inc. カードサービス株式会社

対象会社 : カードサービス株式会社 (日本)  
事業内容 : 各種決済端末の販売、クレジットカード  
決済システム全般のシステム受託開発  
グループ化 : 2022年2月

- 価格競争力のある海外製端末の日本基準対応によるラインアップ強化
- 共同開発とクロスセルの拡充

M&A戦略の実行による事業基盤の強化と事業拡大を図る

## 2. 脱炭素社会に向けたグループ内協業

電力の小売り



株式会社V-Power

再生可能エネルギー発電



株式会社バイテックエネスタ

### トラッキング付きCO2フリー電気の販売

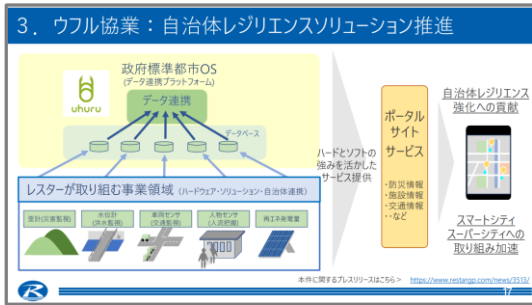
#### 【顧客メリット】

- ① \*RE100達成を目指す顧客にはトラッキング付き非化石証書を提供
- ② 地産地消、ゆかりのある地域で発電された電力ニーズにも対応

\*RE100：企業が自らの事業の使用電力を100%再エネで賄うことを目指す国際的なイニシアティブ  
本件に関するプレスリリースはこちら > <https://www.restargp.com/news/3705/>

# 3. 自治体レジリエンスソリューション提案の具体事例

## 自治体レジリエンス強化に向けた取り組み推進中



2022年3月期 第3四半期  
決算補足説明資料より

### 具体的ソリューション



スマート街路灯  
(イメージ)



クラウド

- ・監視カメラビューワー
- ・道路異常検出/人・車流測定データ
- ・ビッグデータ化等々

暗闇でも検出可能なイベントセンサー



ヘッドライトの逆光にて人影見えず 同状況もイベントセンサーは緑枠にて動態検出 (人の動き)

- ✓ 夜間や逆光でも動く人や車を検出
- ✓ 低容量データで昼夜問わず記録
- ✓ 蓄積したビッグデータを街づくりやレジリエンスに活用

本件に関するプレスリリースはこちら > <https://pdf.irpocket.com/C3156/Xq7P/lIlgT/VSN6.pdf>

## <お問い合わせ先>

レスターホールディングス | R 部

Mail to : [irpr@restargp.com](mailto:irpr@restargp.com)

---

### <将来の見通しに関する注意事項>

このプレゼンテーションに掲載されている当社の現在の計画、見通し、戦略は、将来の業績に関する見通しであり、これらは現在入手可能な情報から得られた当社の判断に基づいております。

実際の業績は、様々な外部要因、内部要因の変化により、これらの業績見通しとは異なる結果となる可能性があります。

実際の業績に影響を与える重要な要素には、世界・日本経済の動向、急激な為替相場の変動並びに戦争・テロ活動、災害や伝染病の蔓延等があります。

本資料・データの無断転用はご遠慮ください。

